

製造基盤技術実態等調査事業

平成31年度予算額 **1.0億円（2.6億円）**

事業の内容

事業目的・概要

- 我が国製造業は、付加価値の創出や人手不足のなかでの現場力の維持・向上などの課題を抱えており、デジタルツール等の利活用を通じて、様々な繋がりから新たな付加価値を創出すると同時に、技術力や現場力の維持・向上を図ることが求められています。
- このため、「ものづくり基盤技術振興基本法」第8条に基づく年次報告書（ものづくり白書）の作成等に必要な委託調査を実施します。
- 具体的には、ものづくり産業の高度化等、製造業振興を促すために、政府が把握すべき技術の実態や先端事例等の調査を行います。

成果目標


- 平成19年からの事業であり、「ものづくり基盤技術振興基本法」に基づく、ものづくり白書の作成及び公表を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

想定される事業

- ものづくり白書の作成
我が国製造業をめぐる諸課題を明らかにするとともに、各国の競争力を詳細に分析します。
- 
- The image shows the cover of the '2016 Manufacturing White Paper'. It features a central figure of a person standing with their arms raised, surrounded by a circular arrangement of colorful icons representing various manufacturing and technology sectors. The text '2016年版 ものづくり白書' is prominently displayed.
- 成長分野における技術等の調査
Connected Industries 実現等に向け、自動車、宇宙、ドローン、航空機、素材等の成長分野の更なる開拓に貢献する政策の検討に資する調査等を行います。